

最新売れ筋BEST本

★印は初登場!!

2003.9.1~9.30

TTCネットワーク月間データ
(半巻を除く小社全書籍の売れ数)

書名	著者名	本体	配本日	前月順
★ 1 ケアマネジャー基本問題集 '03 (上)	介護支援研究会	1600円	03.7.31	1
★ 2 ケアマネジャー基本問題集 '03 (下)	介護支援研究会	1600円	03.7.31	2
★ 3 二列目の人生 隠れた異才たち	池内 紀	2200円	03.4.25	3
★ 4 一流を育てる	朝日新聞be編集部	1500円	03.8.28	New
★ 5 海を失った男	スタージョン	2500円	03.7.10	4
★ 6 戦争と建築	五十嵐 太郎	2300円	03.8.29	New
★ 7 普及版 数の悪魔	エンツェンスベルガー	1600円	00.8.23	6
★ 8 考える練習をしよう	バーンズ	1650円	85.3月	8
★ 9 映画の構造分析	内田 樹	1600円	03.6.10	5
★ 10 「心」と戦争	高橋 哲哉	1400円	03.4.23	7
★ 11 がんに向き合って	上野 創	1400円	02.6.28	9
★ 12 世界はもっと豊かだし、ひとはもっと優しい	森 達也	1700円	03.4.16	10
★ 13 日本美術の二〇世紀	山下 裕二	2600円	03.9.18	New
★ 14 できればムカつかずに生きたい	田口ランディ	1400円	00.5.31	14
★ 15 不安定だから強い 武術家・甲野善紀の世界	田中 聡	1600円	03.1.20	20
★ 16 「おじさん」的思考	内田 樹	1900円	02.3.29	11
★ 17 期間限定の思想	内田 樹	1800円	02.10.31	16
★ 18 持たない生活	向山 昌子	1500円	03.5.23	16
★ 19 こどものことばは暮らしから生まれる	梅村 浄	1600円	03.7.31	15
★ 20 ひきこもり支援ガイド	森口 秀志ほか	1600円	02.9.30	16

斬新な視点に
注目の新刊だ

9/18 西日本

日本美術の二〇世紀

山下裕二 著

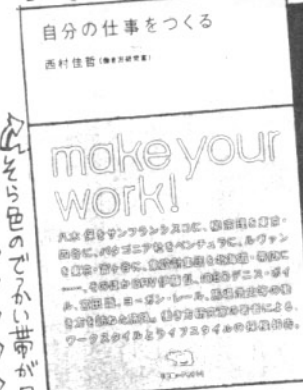
本体2600円



ISBN 4-7949-6583-4

ヒトラーがほめたから雪村「風涛図」の株が
上がった? ココ数年の若冲ブームはなぜ起き
たのか? そもそも「名画」はいつから「名画」
なのか? 日本美術の本質を見つめるために、
日本美術応稱団団長・山下裕二が情熱をこめて
「日本美術評価史」という新形式を試み!

発売早々大反響! 店頭に売れています!!



自分の仕事をつくる

(make your work!)

にしむら・よしあき ISBN
西村佳哲 著 本体1900円 4-7949-6585-0

ほかの誰も肩代わりできない「自分の仕事」をすることが
いい仕事の原点ではないか? 「社会は働き方
から変わる」の確信のもと、魅力的なモノづくりの現
場を訪ね歩き、その働き方の秘密を伝える読み物。
— 東京・四谷の柳宗理さん、サンフランシスコの1木保さん、
IDEO、パタゴニア社、ヨーガン・レールさん等々登場します!

デザイン
開運書や
新刊イベント
売れ筋絶対好調!

麵食いシマダの この店に行け!

不定期連載 No. 71



日本一のナショナルチェーンであるK書店の新
宿本店に勤めるI係長からFAXが届いた。
それも自宅から。「このあいだはお世話にな
りました。ラーメンといえば、ぼくはこの店が
日本一だと思います。ぜひ一度行ってみてく
ださい」と詳細な地図と、「覚えてますか?
こんな感じのやつです」とイラストによる自画
像まで添えられてある。そのときが初対面だ
った。ありがたいお言葉にはいたって弱い。
すぐに出かけたのは言うまでもない。が、残念、
定休日だった。日・祝・月曜日が休み。しか
も営業時間が「昼のみ、11時から2時30分」。
その次の土曜日に再度飛んでいった。さすが
である、店の前に7、8人が行列を作ってい
る。その中には小さな子ども連れのリピーター
らしき夫婦が車で来ている。駐車場が

ないのにわざわざ車で来
るのには強い意思が必要
である。しかも、子どもに旨い
ものを食べさせたいとの気持ち
である。期待できそう! 店内はカウン
ターのみ、7席。メニューも「中華麺」800円と「小
盛中華麺」750円のみ。煮干しのスープに醤油ダレ、
麺は太いちぢれで2玉。具は、太めに切られた
チャーシュー、ナポリ、のり、それとたっぷりのメンマ。
「そうか、大勝軒か...?」と思ったが、そのとき
は聞かずじまい。どんぶりに半分ほど「スープ」が
そそがれる。ゆでた麺を入れるとこぼれんばかり
の量となる。麺が沈みきらずにすし顔を
出している。「腹減っているんだろ、ラーメンで腹
いっぱいにしていってね」と、どんぶりから声か
する(?)。何度目かの折、「東池袋ですか、
永福町ですか?」と聞いた。「永福町で修業
して、ここを昭和47年からです」とのこと。
暖簾分けの走りらしい。「最近新しい店が
次々とできて、私どものような古いラーメン

屋はだめですね」というが、とんでもない。
魚だしの醤油味、スープが冷めないように
表面を覆う良質なアブラ、正しい日本の
ラーメンは絶対にあなだしません。だって
本当に旨いのだから。場所 JR
新大久保駅の改札を出て、大久保通りを
戸山方向へ、最初の信号を渡り、さらに進む。
角に立ち食いそば「満天」がある二つ目の
信号の手前を左。眼鏡屋とか床屋、質屋
が並ぶ地味な路地を200Mほど
行った右手。白地に黒の暖簾。店名は
「めとき」。小さな看板には「目時商店」
とある。つげ義春の描くマンガの世界である。
レジの引き出しだけがカウンターの手前に置
かれ、客が自分で千円札を入れて200円の
つり銭を取るシステムは見た事がない。お客
を信じきっている。「最初から昼だけの営業で
した?」「いえいえ最初はフルにやりました、今
はやりたくてもからだか云う事をききません」と。
いいよ、この店は! 【営業部・島田孝久】